

臨時休業に向けて 2020/04/17 校長メッセージ

(はじめに) 皆さんこんにちは。いよいよ長期の臨時休業を行わなければならない非常事態となりました。この先、学校生活がどのようになるのか先が見通せない状況ですが、社会と家族の一員としてまた出雲高校生、補習科生としての自覚をもち、みんなでこの難局を乗り越えていきましょう。学校再開後に、一回り大きく成長して大人になった君たちと会えることを楽しみにしています。

新型コロナウイルスの感染拡大は大変深刻な状況です。島根県でも日に日に感染者が増えています。世界中で崩壊しかねない医療そして経済活動の停滞による社会保障などがこれまで経験したことのないレベルの社会問題になっています。改めて本校がSSHや課題研究で取り組んでいる、探究学習で研究や調査の基本を習得することと、基盤となる情報リテラシー、科学リテラシーなどを身につけることの重要性が浮き彫りになってきているように感じています。この期間には興味ある本を見つけて読書するなど、心を豊かにしたり視野を広げたりする時間や家族とふれあう時間をもって欲しいと願っています。

感染防止対策については引き続き徹底し、ご家族とともに心身ともに健康な家庭生活が送られるように自覚をもって行動して下さい。学校としては刻々と変わる状況の中で正確な情報を基に関係機関からの指示を受けながら、できることとできないことを見極めながら、休業中の家庭学習についての情報提供、君達の生活状況の把握と学校再開に向けた準備を行います。

(学習について) 本日から君たちは学習教材を持ち帰って、家庭で自学自習することになります。当たり前のことですが、自分で教材や課題を読んで、考えて、解いて、確かめるという自学自習の習慣が身につけているかどうか、学力が伸びるかどうかに関わっています。この期間は自学自習の習慣を身につけることのできるチャンスと考えて主体的で計画的な学習をして下さい。主体的な学習とは、与えられた課題を通じて力を身につけることはもちろん、自分で苦手な分野をやり直したり、得意な分野をさらに伸ばしたりするなど自分流の学習のことです。Gノート(GRITizm Note)を活用しましょう。

(部活動について) 本日から休業終了までは部活動は禁止です。現役生は1年生部員を迎えてそれぞれ部としての目標の達成を目指して張り切っていたところでしょうから、言葉では表せないほど残念な気持ちだと思います。春の各種大会や発表会に向けた目標はなくなりますが、目標の上流にある目的は知っておいて意識して欲しいので確認します。部活動方針の目的は「主体性、責任感・連帯感などの社会性及び豊かな心と健やかな体を育む」です。心身の健康維持のための運動や活動は続けて下さい。

(終わりに) 今、困難な状況だからこそ、思うようにならないことに堪えることを学び、その中で自分を生かしていこうと考えること、責任感や連帯感を持って出雲高校の一員として、社会の一員として行動することが求められていると考えています。これはウイルスと人類の戦いであり、同時に自分自身との戦い、そして出雲高校としての戦いでもあります。直には見えにくいけれども、各国各地域には命がけでウイルスと戦っている医療従事者、経済衰退で生活に困窮されておられる方々などがおられます。私たちは今、何ができるのでしょうか。何をしなければならないのでしょうか。目の前のやるべきことを一つ一つ実行していきましょう。自立・協働・挑戦を実践できるかが問われています。